

# 第2回 東海若手脳神経血管外科勉強会

## -Tips and Technique- Hands on Seminar

テーマ

### 頸動脈剥離術、脳動脈瘤クリッピング術 —周辺機器から基本テクニックのtipsまで—

日程  
会場  
講師

平成21年4月12日(日) 8:30～終日(受付:8:00)  
名古屋マリオットアソシアホテル 17F 「コスモス」

#### 頸動脈剥離術 —もう一度見直したい頸動脈剥離術—

遠藤 俊郎 (富山大学医学部 脳神経外科 教授) スーパーバイザー  
池田 公 (社会保険中京病院 脳神経外科 主任部長)  
井上 智弘 (富士脳障害研究所附属病院 脳神経外科 部長)  
國井 尚人 (東京大学附属病院 脳神経外科 医員)  
岩間 亨 (岐阜大学医学部脳神経外科 教授)  
永田 泉 (長崎大学大学院医歯薬総合研究科 脳神経外科 教授)  
林 央周 (富山大学医学部附属病院 脳神経外科 医局長)

#### 脳動脈瘤クリッピング術 —アプローチからクリップアプリケーションまで—

佐野 公俊 (藤田保健衛生大学脳神経外科 教授) スーパーバイザー  
好本 裕平 (群馬大学脳神経外科 教授)  
波出石 弘 (亀田総合病院脳神経外科 主任部長)  
石川 達哉 (秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科 部長)  
木内 博之 (山梨大学脳神経外科 教授)  
田中雄一郎 (聖マリアンナ医科大学 准教授)  
加藤 庸子 (藤田保健衛生大学脳神経外科 教授)

#### ◎一般演題を募集しております。

ご芳名、ご所属、演題名を下記メールアドレスまで送り下さい。

E-mail : neuron2@fujita-hu.ac.jp

1) 頸動脈剥離術 —教えたい/教えてもらいたいビデオ検討会—

2) 脳動脈瘤クリッピング術 —教えたい/教えてもらいたいビデオ検討会—

発表：討論時間は、7分：3分を予定しております。

多数のご応募お待ちしております。

事務局

東海若手脳神経血管外科勉強会

藤田保健衛生大学脳神経外科

事務局代表/佐野公俊 代表幹事/加藤庸子

幹事/井水秀栄・小田淳平・小栗大吉

〈お問い合わせ・申し込み先〉

E-mail : neuron2@fujita-hu.ac.jp

TEL : 0562-93-9253 FAX : 0562-93-3118

共催

東海若手脳神経血管外科勉強会

アステラス製薬株式会社

財団法人 化血研



# 頸動脈剥離術

-もう一度見直したい頸動脈剥離術-

8:20 開会の挨拶

8:20-8:30 オリエンテーション

8:30~10:00 【第一部】 教えたい/教えてもらいたいビデオ検討会

8:40-8:50 1) 吉村紳一 (岐阜大学医学部脳神経外科 准教授)

「CAS ハイリスク症例に対するCEA及び手術のインディケーション」

8:50-9:00 2) 林 央周 (富山大学医学部脳神経外科 講師) 「高位病変へのアプローチ」

9:00-9:10 3) 陶山 一彦 (長崎大学脳神経外科) 「内シャントの使い方」

9:10-9:20 4) 山本 憲一 (豊川市民病院 脳神経外科) 「当施設での内シャント挿入法」

9:20-9:30 5) 前田 憲幸 (社会保険中京病院脳神経外科)

「CEA 術中トラブルにて人工血管置換術を施行した二例」

【ハンズオンレクチャー 10:00~12:00】 <15分発表:5分討論>

10:00-10:20

1) 「CEA を行う際に知っておくべき頸部頸動脈と周辺構造の解剖」

林 央周 (富山大学医学部脳神経外科 講師)

10:20-10:40

2) 「CEA を安全に行うための工夫-体位から閉創まで」

國井尚人 (東京大学附属病院 脳神経外科 医員)

10:40-11:00

3) 「Shuntを用いたCEAの応用-緊急例、高位例を中心に-」

井上 智弘 (富士脳障害研究所附属病院 脳神経外科 部長)

11:00-11:20

4) 「プラークの剥離、血管縫合と遮断解除」

永田 泉 (長崎大学大学院医歯薬総合研究科 脳神経外科 教授)

11:20-11:40

5) 「当施設におけるCEAの手術-非シャント-」

池田 公 (社会保険中京病院 脳神経外科 主任部長)

11:40-12:00

6) 「初心者のためのCEA」

岩間 亨 (岐阜大学医学部脳神経外科 教授)

【ランチョンセミナー・休憩 12:00~13:00】

「ちょっと役立つCEA」

遠藤 俊郎先生 (富山大学医学部脳神経外科 教授) アドバイザー

「手術器具について」

岩間 亨 (岐阜大学医学部脳神経外科 教授)

13:30～ハンズオンセミナー開始

座長 遠藤先生、池田先生

講師、指導者 永田先生、岩間先生、林先生、井上先生、國井先生

	時間	岩間先生	林先生	井上先生	國井先生
準備及び血管切開	13:30				
シリコンチューブシャント挿入	14:15				
正常豚血管内膜剥離	14:30 15:30				
豚血管内膜剥離後のシャント 抜去及び縫合方法とコツ	15:30 16:30				
豚血管タッキング及びグラフ トによるパッチ	16:30 17:30				

#### **準備に関する必要事項**

血管配布(豚大血管) 約直径 1.5 センチ  
硬性小物などセッティングなど

#### **ハンズオンコーススタート**

##### **①シリコンチューブにおけるシャント挿入**

- A.シリコンチューブを用いたシャントチューブの挿入方法と順序
- B.シャントチューブ抜去の順序と注意点

使用器材:村中シャントチューブなど クリップ、ブルドック、ターニケット  
シリコンチューブ(内外頸動脈を見立てたもの)

##### **②正常豚血管内膜剥離**

- A.血管切開
- B.血管剥離のコツ

使用器材:マイクロはさみ、剥離し、セッシ、硬性小物その他

##### **③豚血管内膜剥離後の縫合方法とコツ**

## 内膜剥離後血管縫合の練習

使用器材:ベアーメディック5、6号その他、ピオクタニン、皮膚ペン

### ④豚血管タッキング及びグラフトによるパッチ

パッチグラフトは血管の断端を使用する

遠藤先生と永田先生の総合コメント

第2回東海若手脳神経血管外科勉強会

脳動脈瘤

8:30 開会の挨拶

8:40-8:45 移動 — オリエンテーション

【プレレクチャー8:45-10:40】

9:00-9:20

1) 「脳動脈瘤手術のセットアップ」

石川 達哉 先生 (秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科学研究部部長)

9:20- 9:40

2) 「杉田システムの基本セットアップ」

田中雄一郎 先生 (聖マリアンナ医科大学医学部 脳神経外科 准教授)

9:40-10:00

3) 「シルビウス裂の切離のポイント」

波出石 弘 先生 (亀田総合病院脳神経外科)

10:00-10:20

4) 「内頸動脈—後交通動脈分岐部動脈瘤の手術」

好本 裕平 先生 (群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野 教授)

10:20-10:40

5) 「Bifrontal interhemispheric approach による脳動脈瘤クリッピング術の実際」

木内 博之 先生 (山梨大学医学部脳神経外科 教授)

10:40-10:55

6) 「動脈瘤術中破裂の対処法」

加藤 庸子 先生 (藤田保健衛生大学医学部脳神経外科 教授)

【ハンズオン 11:00～】

セッション1 60分 11:00～12:00

体位取り-頭部固定-脳ベラのセッティング(前頭側頭、パークベンチ)

テーマ(各施設における杉田固定器とメイフィールドの使用法)

デモ 杉田固定器:田中先生 10分、佐野先生 10分 メイフィールド:石川先生 10分

頭蓋骨モデルもしくは人形に直接ピン固定 30分

実際のベッド3台(マッケイ2台 瑞穂1台)

【昼食】ランチョンセミナー 12:00～12:30 (終了後 10分休憩)

「脳動脈瘤手術での original artery reconstruction」

佐野 公俊(藤田保健衛生大学脳神経外科 主任教授)

セッション2 40分 12:40～13:20

開頭:ビデオセッション

前頭側頭開頭、両側前頭開頭 木内先生 20分 前頭洞修復法含む  
側方後頭下開頭 波出石先生 15分  
ディスカッション 5分

セッション 3 60分 13:20~14:20

シルビウス裂アプローチ 好本先生 10分、波出石先生 10分、  
半球間裂アプローチ 石川先生 10分、  
サララップを用いたシルビアン dessection(ハンズオン)  
ハサミの使い方 30分

セッション 4 140分 14:20~16:40

田中先生 「動脈瘤クリッピングの理論(マルチクリップの理論)」 10分  
石川先生 「脳動脈瘤クリッピング術における Closure Line の概念」10分  
木内先生 「内視鏡支援クリッピング」 10分  
脳動脈瘤モデルを用いた Clip Apply(ハンズオン) 100分  
佐野先生の総合コメント 10分

セッション 5 症例報告 40分 16:40-17:20 (8分発表:2分討論)

波出石先生 「軽症くも膜下出血の診断(見逃しを防ぐために)」  
田中雄一郎先生 「術中思わぬ展開になった ACoA ならびに AC 系脳動脈瘤」  
石川達哉先生 「動脈瘤破裂の対処に難渋した症例」  
木内博之先生 「難渋した私のケース」

17:20~ 修了式

CEA グループとともに。修了証授与。記念撮影。

【実習到達目標】

- ❖ ポジショニング
- ❖ 頭部固定、セットアップ
- ❖ 顕微鏡、神経内視鏡の使用ノウハウ
- ❖ 脳べら、マイクロハサミ、吸引器、クリップ、バイポーラの種類と使い方
- ❖ 各アプローチ、シルビウス裂の分け方、動脈瘤剥離
- ❖ クリップアプリケーションの理解

## 第2回東海若手脳血管外科勉強会

ようやく長い冬が終わり名城公園の桜も満開している名古屋で、第2回東海若手脳血管外科勉強会が開催されました。今回テーマは2つ、一つ目は「脳動脈瘤クリッピング術～アプローチからアプリケーションまで～」もうひとつは「頸動脈剥離術～もう一度見直したい頸動脈剥離術～」です。両者ともハンズオンとして具現化することが難しいと思われるテーマでしたが、勉強会として何とか形にすることができました。もちろん、全国の手術に卓越した先生方、WBC（野球）にたとえるなら、松坂、岩隈、ダルビッシュのようなエースが出揃い朝から夕方まで賑々しく会を終えることができました。インストラクターの先生方この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、会の内容の詳細ですが、クリッピングは、体位、開頭、シルビウス開放、クリップアプリケーション、トラブルシューティングなど他段階的にシミュレーション教育の基本となる「ウォッチ Then」で行い、それぞれにモデル、模型を用い手術本番



た。

現在「外科崩壊」などという言葉がマスコミを行きかい、若手医師が手術離れしている中、このような働きかけで興味を持って欲しい。



さながらの内容を再現しました。頸動脈剥離は、記憶する限り世界最初の試みで、前半座学にて特化、後半はシリコンチューブにシャントを挿入するシミュレーション、また豚血管内膜剥離、縫合、パッチなどを行いました。特に豚血管の質感はリアルであるとの高評を受けました。また卓越した術者たちが目の前で熱い討論をしているのを見ていただけで会場は自然に興奮と熱気に包まれました。



また、ベテラン医師も手術のマイスターから標準以上の知識を学び取って欲しいなどの

真摯な願いが込められており、手術の症例数が多い当大学教育施設においては発信していかねばならない義務さえ感じ、このような取り組みになりました。

また、この一方、PBLなどを代表するようにシミュレーション教育に、受け取り手が慣れてきていることもあり、以前に比べると抵抗なくインプットできる内容で、特にセッションに別れひとつのことを他段階的に、またよりリアルなシチュエーションで行えることも好評のひとつと考えております。

今後も当教室及び全国の手術のマイスターとともに全力で取り組んでいきますので、皆様是非ともご参加ください。よろしく申し上げます。

